

## 今後の斑点米カメムシ類の動向に注意しましょう！

水稻の斑点米カメムシ類は、籾を吸汁し斑点米を発生させる重要な害虫です。水田内へは周辺の畦畔や雑草地から飛来するため、これらのイネ科雑草を対象に6月中旬に発生調査を実施しました。

その結果、斑点米カメムシ類全体の発生概評は平年に比べやや少ない状況でした（表1、図1）。しかし3ヶ月予報によれば、向こう3ヶ月の平均気温は高いと予想されており、気温の上昇と共に斑点米カメムシ類の水田への飛来や、その後の発生量が急増する可能性があります。

水田内、畦畔及び水田周辺の雑草管理を適切に実施するとともに、出穂期以降、水田を観察して斑点米カメムシ類（写真1）の侵入が認められる場合は、表2を参考に適切な薬剤防除を行いましょう。

表1 イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況

分類	発生地点率(%)		頭数(頭)		発生概評
	H29	平年	H29	平年	
クモヘリカメムシ	0.0	16.1	0.0	1.5	少
ホソハリカメムシ	17.9	46.9	0.2	1.3	やや少
アカヒゲホソミドリカスミカメ	89.7	93.4	14.5	24.6	平年並
アカスジカスミカメ	74.4	80.7	6.3	66.6	やや少
斑点米カメムシ類	100.0	99.3	24.7	98.4	やや少

※平成29年6月19～20日に、39地点で20回振りすくい取り調査を実施。  
 ※平年値は、平成20～28年の9年間の平均値（調査時期6月下旬～7月初旬）。  
 ※斑点米カメムシ類は、上記4種及びその他斑点米カメムシ類の合計。

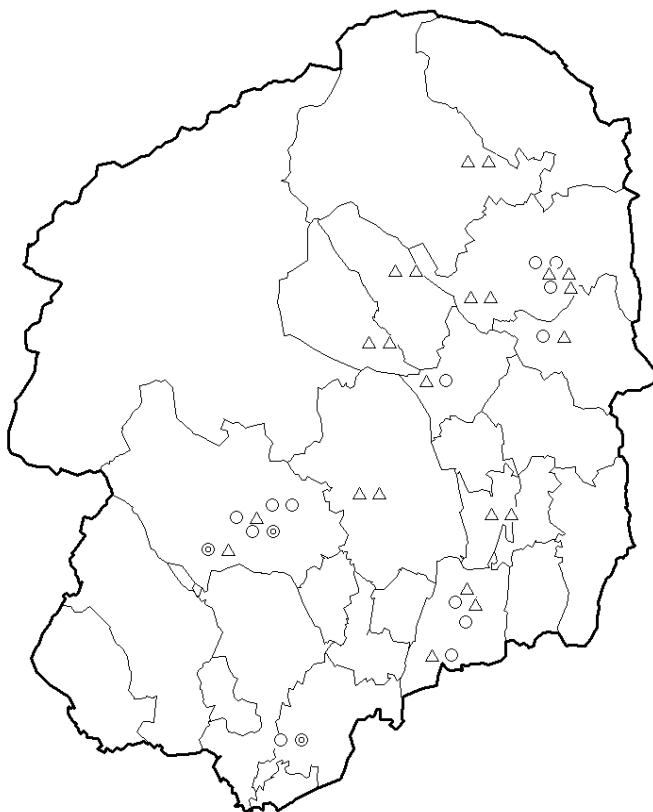


図1 斑点米カメムシ類の地点別発生状況

程度	無	少	やや少	平年並	やや多	多
頭数(頭)	0	1~20	21~59	60~138	139~177	178以上
記号	×	△	○	◎	▲	●



写真1 斑点米カメムシ類

## 《防除対策》

### ○耕種的防除

- ・ イネ科雑草の穂には斑点米カメムシ類が集まるので、畦畔及び水田周辺の除草を、



行うことで、イネ科雑草の出穂を長期間抑制でき、斑点米カメムシ類の水田への侵入を低減することができます。

- ・ 2回の除草ができない場合は、遅くとも水稻の出穂期10日前までに除草を済ませましょう。詳しくは、病害虫防除対策のポイントNo.16「斑点米カメムシ類の防除対策」参照  
(農業環境指導センターホームページトップー防除課ー技術情報)

<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/file/gijutu/point/No16.pdf>

- ・ 水田内にイネ科雑草（ヒエ等）やホタルイ等が出穂すると、斑点米カメムシ類を水田へ誘引するため、できるだけ早めの除草に努めましょう。特に、ホタルイの小穂（写真2）はアカスジカスミカメを誘引するので注意が必要です。



写真2 ホタルイの小穂

### ○薬剤防除

- ・ 出穂期～穂揃期頃に斑点米カメムシ類が水田内で見られる場合は、液剤ならば**乳熟期初期（出穂期7～10日後）まで**、粒剤ならば**出穂期～出穂期7日後まで**に防除しましょう。
- ・ その後も斑点米カメムシ類が見られる際は、7～10日間隔で1～2回の追加散布を行いましょう。

表2 水稻のカメムシ類に登録のある主な薬剤(平成29年6月22日現在)

農薬名	希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系統	RAC コード
ダントツ粒剤	3～4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	クロチアニジン	ネオニコチノイド	I:4A
スタークル液剤10 スタークルメイト液剤10	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジノテフラン		
MR. ジョーカーEW	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	シラフルオフェン	ピレスロイド	I:3A
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	エトフェンプロックス		
キラップフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	フェニルピラゾール	I:2B

注：RACコードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける。

※水稻の斑点米カメムシ類防除の薬剤がミツバチに被害を及ぼすことがありますので、養蜂家の方々へ農薬散布日を周知する等の積極的な対応をお願いします。

詳細は、農業環境指導センター（Tel 028-626-3086）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi\_nousei)」、農業環境指導センターホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>）でもご覧になれます。



6月～8月は「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。  
いつものチェック！ 農薬を使用する際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！